



藤本毅さんは、田布施図書館の館長や田布施西小学校の寺子屋教室の会長などをされています。

今回は、毎年新しいことにチャレンジをされている藤本さんに、生涯学習についてお話していただきました。



No.277

一年一計

長田自治会 藤本 毅

計画する事は簡単ですが、
実行し、継続する事は難しい。

「今年こそは何か頑張ってみよう!!」と毎年元旦には計画を立てつつも、結局3日坊主に終わっていたのが私の50代でした。6年前から一念発起し、毎年一計画を立てて、現在もどうにか実行し継続しています。「テレビなどで洋画を字幕無しで見られたらいいなあ!!」、「英語で会話が出来たら外国旅行もさらに楽しいだろうなあ!!」という気持ちから、まずは学生時代の記憶を頼りに、1週間に一度、身のまわりの出来事などを日記に書くことから始めました。そして、それを岩国基地の先生に添削してもらい、正しい文章を覚えるよう努力しています。また、1カ月に80語の暗記を目標に自作単語帳で頑張っていますが、覚えるよりも忘れるスピードの方が早く困ったものです。

先日は、世界ジャンボリーの行事があり、田布施にも280人の海外の方が来られました。私も友達と共に語学ボランティアのスタッフを務め、拙い英会話を役立てることが出来ました。

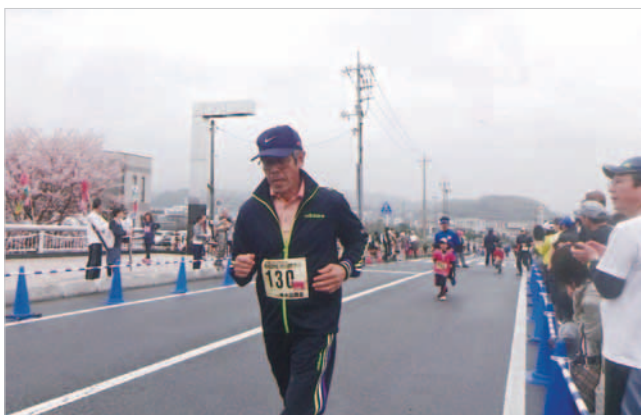
また、4年前からジョギングも始めました。当初は、100メートル走るのも息が切れて大変でしたが、1分でも速く走ろうと毎回タイムを計り、スピードを上げ、持久力をつけることで、3キロ位は走れるようになりました。

た。桜まつりマラソンには連続3回参加しており、来年も挑戦する予定です。将来的には10キロ走る事を目標に頑張り、大きな大会も目指してみたいと思っています。

3年前から田布施西小学校の放課後子ども教室である「西の寺子屋」の会長を務めさせていただいています。お年寄り子どもたちの関わりを大切にしたい、子どもたちの成長を地域で支えていこうという主旨で創設されました。地域の方々のサポートを受け、お陰様で生き生きとした子どもたちの姿を見る事が出来て、私も喜んでいきます。

今年の一計は腹筋運動への取り組みです。毎日鍛える事で、お腹がスマートになり、ベルトの穴もひとつ縮めることができました。リバウンドしないように努めます。

様々な活動を通して、計画する事は簡単ですが、実行し、継続する事は難しいと実感しています。頭も体も維持向上に取り組む事は、長寿時代には大事な事です。今の60代70代はまだまだ若く、社会も必要としています。今後も努力を積み重ね、自分にとっても楽しい充実した生涯生活が送れ、町のお助け隊として、いろんなサポートが出来たらと日々思っています。



▲ 田布施川さくら健康マラソン大会に参加して



▲ 西の寺子屋教室で、水辺の生きものを観察中



「西の寺子屋」は、田布施西小学校を活動拠点とし、全学年を受講対象とした、地域が運営する放課後課外教室です。

児童の居場所作りと、「学校では味わえない体験を!」との思いから、平成25年度より①伝統・郷土 ②自然・動植物 ③文化・芸術・料理 ④しめ縄 ⑤スポーツ・レクリエーションの5つを柱とする様々な講座を、年間に亘って開講しています。

例えば①は、昨年度までは「わが町田布施町発見!紙芝居からズームイン」と題して、郷土の紙芝居を教材に学びました。今年度はより活動的に、古民具を使った黄粉作りや古墳見学などを実施します。提供いただく大豆の栽培から石臼の修理と、多方面の方々に支えられています。



また、③の「ことばであそぼう」俳句にチャレンジ」では、校庭を散策し、17文字の中に思いを込める児童の姿は真剣で、時間があつという間に過ぎて行きます。

今年度は、10月3日に第43回草花全国俳句大会で、1年生の福本阿月さんが優秀賞を受賞しました。

④のしめ縄作りでは、校区を超えた沢山の方にご指導をいただき、児童や世話人の中にも指導できる人が誕生しています。

今、「西の寺子屋」を通じて、地域の人々が学校をより身近に感じ、関わる様々な組織やボランティア団体を柔軟に巻き込みながら、つながりが広がっています。子どもも大人も、関わったすべての人が当事者であり、きらきらした瞳で笑顔になれる、そんな『居場所』であり『学びの場』でありたいと思います!

No.174

サークルスケッチ

篠笛赤とんぼ



- 活動日 第一および第三火曜日
午前10時～正午
- 場 所 麻郷公民館
- 代表者 中村 仁



「篠笛赤とんぼ」は篠笛を個人的に愉しんでいた人たちが、会として集い演奏を愉しむのも「アリ」ではないかとの思いで平成二十六年一月に発足しました。主として練習する曲は、誰もが知っている童謡・唱歌で楽しく篠笛を吹くことをモットーに、和気あいあいとして活動しています。また春にはお花見会、野外桜の木のもとで、年末には忘年会で、メンバー各自が好きな曲を披露するなどとても楽しい会です。



篠笛とは、篠竹(女竹)に七つの指孔を開けただけの簡単な構造の笛で、古くから庶民の楽器として祭囃子や神楽などに使用されています。また流派のあ

る他の和楽器と違い、誰もが自由に吹き楽しむことができ、種類は古典と唄用があります。「篠笛赤とんぼ」では、唄用(ドレミ調)を使用しています。

日々の生活に追われている今のつかのまの一息の安らぎ、また非日常性を求めるとき、本格的な音色の篠笛はそのよりどころ一つとなるでしょう。この笛は、昔懐かしい童謡や唱歌に合い、「篠笛赤とんぼ」はこれらの曲の練習を通じメンバーの親睦、こころの癒しに、また思いっきり音が出せる教室で笛を吹き、ストレスを解消しています。

篠笛に興味をお持ちの方、見学お気軽にどうぞ。お待ちしております。